

預言成就が緊迫していると思える5つの理由

先週速報で報じられた、シリア北部アレッポの、言葉で言い表せない恐ろしい状態についてお話しします。今日は、シリアの首都ダマスカスに関する、聖書預言に照らし合わせて、アレッポで起こっている事の意味について見ていきます。同時に、現在シリア内で、バッシュールアサドをコントロールしている、ロシア、イランについても見ていきます。これから見ていく内容は、イザヤ書17章の預言が成就されつつある事が疑う余地のない、明らかな証拠だと思えます。

“ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。”(イザヤ書17:1)

これが、ロシアとイランの同盟国がイスラエルを攻撃すると言う、エゼキエル38章の預言が成就するきっかけとなります。ちなみに、それは失敗で終わります。

まず最初に、この地図をご覧ください。重要な都市、ダマスカスを支配している国にとって、なぜアレッポが戦略的地域なのかを説明します。理解しておくべき点は、アレッポはシリア北部に位置する、かつてはシリアの最大都市であったという事。



良く、シリアのニューヨークだと考えられていました。ここは、シリアの中心地で、洗練された都市だったのです。アレッポの占拠が、とても重要である理由の一つは、手先であるアサドを強化する為。ロシアの空軍とイランのシーア派民兵軍のおかげです。ちなみにヒズボラについては、後ほどお話しします。皆さんもご存知だと思いますが、理解しておかなくてはならないのが、ロシアとイランは、アサドの事など何とも思っていない。彼は

ただ、終わりの為の目的でしかない。終わりとは何か？終わりとは、“イスラエルの終わり”の事。そして、他に的確な言葉が見つかりませんが、アサドは、目的達成手段の為のパイプに過ぎないのです。なぜかと言うと、ロシアとイランは、この予言されているイスラエル攻撃を仕掛けるためには、シリアでのパイプが必要なのです。先日のアレッポでの勝利でも、アサドはシリアの支配権を一切得ておらず、ただダマスカス内で、彼の政権を再構築する手助けとなります。ダマスカスからイスラエルまでの、およその距離を見てください。だいたい、ここカネオへから、クニアくらいでしょうか。もう少しあるかもしれませんが、それほど遠くありません。ダマスカスからイスラエルまで、恐らく車でなら1時間ほどです。問題は、現在弱り、激減している穏健派反対軍を、ISISとアルカイダが利用する可能性があるという事です。言い換えると、アレッポを奪還して安定させる政権を構築する代わりに、反対の結果を招く可能性があるという事。それらが恐れられているのです。つまり要点はこうです。現在、アレッポは1つの情報源によれば、“がれき”と化していて、ダマスカスも、それほどかけ離れた状態ではない。そして専門家が正

しければ、反対勢力が再結成して攻撃を仕掛けるのも、時間の問題です。ここで、この可能性に加えて考慮してほしいのは、2週間前、ダマスカスの地下に置かれている武器が、間違っもの手に渡るのを阻止するため、イスラエルもダマスカスを標的に攻撃しました。シリアの地政治状況は、切迫している事を理解しておいてください。それは、想像を絶する、シリアの人道状況になぞらえる事も出来ます。きっと皆さんも私と同じだと思いますが、あちらで起こっている事を伝えるニュースや映像を見聞きするのは、本当につらいです。あちらでは一般市民を避難させようとしています。私が知る限りでは、今日、ロシアで緊急会議が開かれ、アレッポに行って、市民を救出する活動を禁止するとのことです。理解しなければならないのは、アレッポはもう終わっているのです。もう、がれきと化しているのです。そこは“廃墟”となってしまったのです。そこに、まだクリスチャン達がいるのです。イスラム教徒達も、確実にいるでしょう。でも覚えておいてください。時々私たちは聖書預言に注目するあまり、大きな間違いを犯してしまいます。現実に対して、あまりにも盲目になってしまいがちですが、これらは魂なのです。神



が愛し、イエスが彼らの為にも死なれた。何千、何万というシリア人が、アレッポから出れずにいるのです。私が聞いたのは、言葉で言い尽くせませんが、親たちが、兵士に自分達の子どもを殺してくれと頼んでいるのです。我が子が惨殺されるのを見るのは、耐えられないと。それくらいひどいのです。何千、何万人ものシリアの人たちが、惨殺されたか、撤退しています。これはオアフ島の人口のおよそ半分です。かれらは、そこに居る人たちにとっては、息子

であり、娘であり、母親、父親、兄弟、姉妹であると言う視点で見てください。全部、人なのです。こららは、人なのです。とにかく、神が、あわれみをかけてくださるように、命が守られ、魂が救われますようにと祈りましょう。人間は悪を計るが、神はそれを良い事のための計らいとされます。今この時、神がこれを働かせて益とされ、多くの魂が救われますように。

もっと、理解するために、アレッポの崩壊について書かれた、National Review の記事を紹介します。これは月曜日の記事で、アレッポ崩落の前に書かれたものです。この中で、記者はアレッポ崩壊後に起こる事について、5つの予測を提示しています。その内のどれも、アメリカについて良い前触れはありません。全てが私に言わせると、完璧な“預言的嵐”が、ダマスカス内で形成されている事を示します。簡単に言えば、「アメリカは恥をかき、ロシアとイランは今、つけあがっている」
記事をいくつか引用してみます。

“バッシュャール・アサド、アーヤトッラー・ハーメイネー、ハサル・ナスルッラーフ、ウラジーミル・プーチンの中心軸は、微笑んでいる。ロシアは、スンニ派の反政府軍を、安全にアレッポから避難させよと言う、アメリカの要請を自慢げに拒絶。これは、オバマ対プーチンの基本。ロシアへの圧力に対して、オバマはプーチンに軽く無視される。”

これ、面白いと思いませんか？現在オバマは、大統領選をロシアがハッキングした“らしい”件で、ロシアを脅迫。なぜ“らしい”と言ったかと言うと、それが起きたと言う証拠が全くないからです。それから、この前に彼は、飛行機に乗ってこちらにやって来る。プーチンは、完璧に KGB(ソ連国家保安委員)

をひけらかしていますよね。恥ずかしい事です。卑しい事です。アメリカ合衆国の大統領が、大統領選の行程を、ロシアがハッキングした可能性があると言う噂に、あれほどムキになって、シリアのアレッポに関しては、一言もない。卑しい事です。本当に恥ずかしい。

記事は続きます。

“アメリカの無能さは、公衆にさらけ出されたが——”

——これはまだ優しい言い方です。

“プーチンは中東において、自身の壮大なる戦力を実証した。中東では、プーチンの力に対する恐れと認知の影響は明白で、それが、アメリカの味方国を恐怖で支配している。2015年10月上旬、オバマ大統領が主張した。「アサドを支持し、住民を制圧しようとするロシアとイランの試みは、彼らを窮地に追い込むだけで、上手くいかない。」——”

——アレッポはがれきと化しました。がれきと化した。その事が、オバマが間違いだと証明しました。彼の間違った判断が、深刻な犠牲をもたらした。

“中心勢力は、反対政府軍とその家族を餓えさせて、降伏させ、この行為は、「トルコの実力行使」に一度は火をつけるが、しかし現在、エルドアンはプーチンにひざまずき、懇願している——”

——エゼキエル38章です。トルコを覚えておいてください。後から出てきます。

“20万人というシリア市民の、引き裂かれた肺と餓えた腹には、アメリカの信頼性は灰となった。そこへ、プーチンのKGB(ソ連国家保安委員)の不死鳥が舞い上がってきた。”

「不死鳥が舞い上がってきた」という表現が面白いと私は思いました。何故かと言えば、ロシアは熊で、傷を負った熊ほど、たちの悪いものではありません。そして、現在ロシアは傷を負った熊なのです。彼らの経済は崩壊寸前。それがエゼキエル38章の“鉤”となるとも言われています。大して驚きもしませんが、ロシアの外務省が「イラン核協議の失敗は、許されない」と発言しました。Ynet Newsによると、外務省はさらに発言して、「アメリカ合衆国による、イラン制裁を10年先延ばしにする計画には失望した」。ところで繁栄と言えば、イスラエルは、“かすめ奪う獲物”を持っています。イスラエルは、技術をもっていて、現在でも世界の羨望的なのです。ちなみに、彼らはガスも持っています。しかもたくさんです。それから石油もです。たくさん持っています。みなさん、ベンジャミン・ネタニヤフの60分のインタビューはご覧になりましたか？これまで、彼の色々なインタビューを見てきましたが、今回は、これまで聞いた、どれよりもはるかに超えて、面白く、うっとりするものでした。何故かと言うと、これは預言的な要素が満載で、驚愕でした。先ほどお話しした、イランの協議について聞かれた時、ネタニヤフは言いました。

「唯一、協議の良かった点は、アラブ諸国と、イスラエルの距離を縮めた事だ。アラブ界での、イスラエルの立場が変わったと言える。」

これに対して Lesley Stahl が返したのは、

「エジプトとの関係が、劇的に進展したと聞きますが、本当ですか？」

ベンジャミン・ネタニヤフ：「はい」

Lesley Stahl : 「ヨルダンは？」

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「はい。」

Lesley Stahl : 「サウジアラビアは？」

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「ノーコメント」

どんどん面白くなりますよ。預言に目を見張っている人は、念頭においてくださいよ。エゼキエル38章については、この後お話ししますが。サウジアラビアの重要性を、みなさん理解していますね？通称、シェバ、デダンです。インタビューは続きます。

Lesley Stahl : 「何よりも、お聞きしなければならないのは、イスラエルとサウジアラビアは、中東で、反イラン同盟を展開しているのですか？」

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「展開する必要もありません。元から存在していましたから。イスラエルは、世界中で新しい同盟の群を展開していて、いくつかの国とは、アメリカに対して挑戦を突き付けているケースもある。例えばロシア。ロシアは、イスラエルの隣国、シリアに兵士を配置しています。」

Lesley Stahl : 「現在のロシアとの関係はどうですか？」

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「友好的です。しかし、プーチンが、シリアに軍隊を配置すると決めた瞬間、私は彼に会いに行き行って言いました。『私はこうする。私は、シリアを攻撃はしないが、同時に、シリアが私たちに立ち入ろうとした時は…』」

これ、よく聞いてください。エゼキエル38章です。

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「『もし、イランが私たちが攻撃するのに、シリアを使用した時は、我々はそれを阻止する。』」

これは部分的には事実ですが、“神”が阻止して、それは成功しません。

Lesley Stahl : 「プーチンに攻撃すると言ったのですか？！」

ベンジャミン・ネタニヤフ : 「私は『私たちはそれを避けるべきだ』と言いました。」

それからインタビューの終わりの方で、これがどんどん面白くなるのです。本当に引き付けられました。特に Lesley Stahl の顔を見ていると、もうたまりませんでした。ところで、ネタニヤフは実に聡明な人ですよ。彼のIQは非常に高いのです。インタビューの終わりに差し掛かり、ネタニヤフはユダヤ人とパレスチナ人が、平和に安全に隣り合って暮らすと言う二国解決案に関して、自身の立場を繰り返し伝えました。

「“2つの人々の為の2つの国”これに私は焦点を当てています。はい。トランプ大統領が、ホワイトハウス入りした際には、これについて協力していただきたいと思っています。アラブ諸国も、これを達成する為に、協力してくれるよう願っています。これが新しい事実であり、新しい可能性です。」

ご想像の通り、これによって批判の嵐が巻き起こりました。特に、Arutz Sheva が火曜日に報じたのは、その中で疑問が投げかけられています。「一体全体、どうしてネタニヤフは、トランプにパレスチナ国家を差し出したのか?」。聞いてください。サマリア地方議会のトップ Yossi Dagan は、日曜日に放送された、ベンジャミン・ネタニヤフ首相の60分のインタビューで、ドナルド・トランプ次期大統領に、二国解決案達成について協力を呼び掛けた発言に対して、激しく批難した。先日の大統領選で、トランプを支持した Dagan は、ネタニヤフの、ハトのような方向転換の背後に隠された論理に、疑問を投げかけた。彼は、「共和党自身が、イスラエルに対して態度で示す為、二国解決案を、党派の公約から外した直後にこの発言を行っており、なぜ国家主義陣営の指導者が、アメリカ政府の左派に身を置き、彼らが求めもしなかった事を、差し出すのか全く理解できない。」

面白いですね。Dagan は加えて言います。「このような発言は、単に逆効果だけでなく、長い目で見るとイスラエルにとって、深刻なダメージになりかねる。すでに危ない、地政治的立場をさらに悪化させる。この時にこの発言は、イスラエル国家にとって、とても危険になる可能性がある。それによって、政治的大惨事をもたらし、我々が、歴史的なチャンスを見逃す事にもなりかねる。」

これは大きなことです。他に言いようがありません。これは重大です。この事と、他の多くの理由から、ある預言が、成就される寸前であることが証明されたと言えるでしょう。出来るだけ急いでお話ししますが、残りの時間でお伝えしたいのは、イザヤ書17章の預言成就、それに伴うエゼキエル38章の預言成就まで、ギリギリまで来ていると私が思う5つの理由です。同時に、十分な情報と、聖句、聖書の中の預言の箇所をお伝えしますので、ベレヤ人のようになって、聖書をご自分でも調べてください。これが本当かどうか見てください。

理由① イザヤ書17:1が成就され、一旦ダマスカスが廃墟となれば、ロシアとイランは“鉄は熱いうちに打て”とばかりに、攻撃を仕掛けるだろう。彼らは、同盟を組んでイスラエルに攻撃を仕掛け、それによって、エゼキエル38章、39章が成就されます。そしてそれは、ダマスカスの崩壊の直後に起こります。

理由② エゼキエル38章の預言で、目立って名前が見られない国は、現在イスラエルと和平を結んでいるか、イスラエルに関して重要でない状態にあるか、またはそうなる。すなわち、私の出生地であるレバノン。現在ヒズボラと、イラン、ロシアに支配されています。取るにたりません。エジプトは、イスラエルと平和合意を結びました。ヨルダンも、イスラエルと平和合意を結びました。シリアは破壊しました。イラクは、現在イスラム国に支配されています。サウジアラビア、彼らは13節でただ抗議するだけです。そこに、アメリカ、イギリスも加えることが出来るでしょう。13節で、私たちは攻撃に加わらず、ただ抗議し、疑問を呈するだけだと言われています。

“あなたは物を分捕るために来たのか” (エゼキエル 38:13)

でも攻撃には加わりません。なぜか。それはサウジアラビアは現在、イスラエルの味方だからです。インタビューで、ネタニヤフは言いました。「私の敵の敵は、私の友だ。」それには続きがあって、「私の敵の

敵は、私の友。」そして、サウジアラビアはイランの敵で、イランはサウジアラビアの敵。サウジアラビアは“サウド家”で、彼らはスンニ派。またサウジアラビアには、メッカとメディナがあります。そして、イランはシーア派で、ヒズボラもシーア派イスラム。そこに問題があるわけです。

理由③ エゼキエル38章に記載されている国家は、現在アサド、シリア崩壊に関して同盟を組み、イスラエルを攻撃する準備が整っている。すなわち、ロシア、イラン、リビア、そしてトルコ。現在は、プーチンにひざまずいて懇願していると話した通りです。イザヤ書とエゼキエルの特定の預言に合わせて、ゼカリヤ書のエルサレムに関する預言も、考慮しなければなりません。

“私はエルサレムを、その周りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。”（ゼカリヤ12:2）

エルサレムを分断しようとし、境界石を動かそうとする。

理由④ テルアビブよりエルサレムへ、アメリカ大使館の移動が、次期大統領政権の最優先事項であるという事。最後に理由その⑤は、その④に繋がっていて、この平和と安全に対する、留まるところを知らない探求、つまり二国解決案で、これは、私は第一テサロニケ5:3で使徒パウロが書いた事の成就だと思っています。

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦の産みの苦しみが臨むようなもの”（第一テサロニケ5:3）

彼らが、「平和だ。安全だ。」と言っている“時に”突如の滅びが襲いかかるのです。

最後に、皆さんに質問をしたいと思います。みなさん、これから始める一週間の間にじっくりと考えてください。質問は、

“現在私たちが目にしている、世界中で起こっている出来事は、何らかの形で一時停止したり、停止できるだろうか？”

今日お伝えした、地政治の勢い。私が心から信じているのは、これらは止まったり、一時停止しないだけでなく、実際には頻度も激しさも加速するでしょう。妊婦の産みの苦しみが臨むように。だから、毎回預言アップデートの後には、主の御名を呼び求めて、救われた事の無い人に呼びかける義務が私にはあるのです。私が牧らせていただいている、この美しい教会に居るみなさん。または、オンラインでこれを聴いているみなさん。もう少しだけ、集中して聴いてください。これから、みなさんが人生で聞く中で、何よりも最も重要な事をお話ししますから。これは、生死の問題ではなく、“永遠の”生か死の問題です。先週同様、どなたの事も侮辱するつもりはありませんが、ただ、福音を子供にでも分かるくらい、シンプルに伝えなくてはなりません。その理由は、キリストに立ち返らない限り、そして、キリストによって変えられない限り、霊的に新生して子供のようにへりくだり、学ぶ姿勢が無ければ、天の御国に入る事が出来ないのです。これはイエスが言われた事です。

“イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。だから、この子どものように、自分を低くするものが、天の御国で一番偉い人です。」(マタイ 18:3-4)

ちなみに、主はこの時、隣に小さな子供を置いて、こう言われました。

“また、誰でも、このような子どものひとりを、私の名のゆえに受け入れる者は、私を受け入れるのです。”(マタイ 18-5)

だから福音は、“子どものように”。“子供じみた”ではなく、子供にでも分かるくらいシンプルなのです。では、ゴスペルとは何か？どうすれば、霊的に子どもとして新生できるのか？恐らくみなさんも、この動画の違ったバージョンをご覧になったことがあるでしょう。でも、私はこの動画をインターネットで観て、実に見事に美しく、シンプルに、子供にでも分かるくらい簡単に、福音を伝えていると思いました。最後に皆さんにご覧いただきたいと思います。



画像の中には、3つのビンがあって、1つには水道水が入っていて、私たちを表しています。2つ目は、色を付けた水で、罪を表しています。3つ目は、漂白剤の入ったビンで、キリストを表しています。描写は、罪がどのようにして、私たちを破壊するかを示しています。私たちを「ドロドロにする」と言っても良いでしょう。

“すべての人は罪を犯したので、神からの栄養を受けることが出来ず”(ローマ 3:23)



私たちはみんな罪びとです。私たちはみんな、罪びととして生まれました。だから、私たちは新生しないとはいけません。

“人は、新しく生まれなければ、神の国を見る事はできません。”(ヨハネ 3:3)

“血を注ぎだすことがなければ、罪の赦しはないのです。”(ヘブル 9:22)

だからイエスは十字架にかかり、私たちの代わりに、血を流されたのです。それによって、私たちの全ての罪の代価を、全額支払ってくださった。

“たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。” (イザヤ 1:18)



私たちは赦され、そして私たちの全ての不義が清められました。そして、これは私たちの義ではなく、キリストの純粋な義です。キリストが私たちの中に居る時、私たちがキリストの中に居る時、私たちの罪は、雪のように白くなる。主が私たちを清め、主が私たちを許して下さるのです。罪のない、純粋なイエスと、私たちを洗い清める事のできる主の力が、無償の賜物である永遠の命として、私

たちに差し出されたのです。

“あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。” それは自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません、だれも誇ることもないためです。

(エペソ 2:8-9)

これは、私たちはキリストを受け取る時、私たちに与えられる賜物なのです。どのようにして、キリストを受け取るか。これもまた、子供でも分かるシンプルさです。簡単すぎると思うほどです。

“人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:10)

呼べば届くのです。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも——”

“かも” じゃなく、“もしかしたら” でもなく、“きっと” でもなく、“だれでも”

“——救われる” (ローマ 10:13)

それほどシンプルなのです。

祈りましょう。

愛なる、天のお父様。天国のこちら側では、あなたに十分なお礼を伝えるのは不可能です。この世にあって、私たちをこれほどまで愛してくださり、あなたのひとり子を、私たちの代わりに死に、私たちの全ての罪の対価を支払うためにお与えになりました。私たちの中で、誰でも信じる者が、地獄で永遠に滅びる事がなく救われ、天国で永遠を過ごす為です。主よ。今日のこの集まりの時を終えるにあたって祈ります。もし、これをインターネットで観ている人の中、もしくは今、この教会の中に、あなたを呼び求めた

事のない人がいるなら、今日、あなたが彼らに語り掛ける静かな御声を聞いたなら、主よ、彼らが耳をふさがない様にと祈ります。彼らが心の扉を閉じませんように。今日、彼らが心の扉を開きますように。そして、あなたを受け入れ、新生し、救われますように。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい